



第41号
〈発行〉
日置地区
社会教育振興会
〈事務局〉
鹿児島
教育事務所

学習成果を発表、講演はゴルゴ松本氏の「命の授業」

日置地区生涯学習推進大会
日置市生涯学習推進大会

12月2日(日)、日置市伊集院文化会館で日置地区生涯学習推進大会が531人の参加の中開催され、日頃取り組んでいる学習成果の発表等を行いました。

開会行事では、田畑誠一会長(いちき串木野市長)が開会のあいさつを、宮路高光日置市長が歓迎のあいさつをされました。表彰式では、6個人・4団体が地区社会教育表彰を受けました。(表彰者は第40号に掲載)



表彰を受ける地区受賞者



ダンス「ズンバ」の発表



海外体験事業の発表



オカリナの演奏

学習の成果発表はいちき串木野市のズンバで始まりました。講座生らはリズムに乗って元気なダンスを披露しました。

各市の生涯学習の紹介では、青少年の育成活動や寺子屋塾、女性委員会など様々な取組の発表がありました。体験発表では、日置市の青少年海外派遣事業に参加した鈴木琴乃さん(甲南高校2年)がアメリカのワシントン州ピュアラップでの

ホームステイの体験報告をしました。ホームステイを通じて何事も積極的に取り組むことができるようになり、今後さらに英語の力を高めたいと発表しました。

オカリナ講座生は、優しい音色で童謡など3曲を演奏し、聴く人の耳を引きつけました。また、伊集院地域女性連ハーモニークラブは、「365日の紙飛行機」の曲に合わせて手話ダンスを発表し、会場から大きな拍手が送られました。

講演は、「出張! ゴルゴ塾 命の授業」と題してタレントのゴルゴ松本氏が行いました。軽妙な語り口で会場の子供からお年寄りまで心をつかみ、「言葉」「歴史」「命」の大切さを分かりやすく熱く語りました。最後に、命の漢字を表現するポーズで会場を沸かせました。ロビーでは各市のパネル展示もあり、充実した生涯学習推進大会となりました。



「命」のポーズ



地区受賞者の皆様

日和下駄

「女性の視点」

昨年4月よりいちき串木野市地域女性連会長を引き受け、やっと一年が終わろうとしている今、安堵の気持ちでいっぱいです。

本市は県下でも女性連活動が特に盛んな町と言われており、先輩方が知恵と労を費やし、様々な活動を先駆け、現在でも脈々と受け継がれています。

この大切な行事を絶やすことなく次世代へと引き継いでいく責務を感じていますが、時代の流れと共に女性連活動の変化と同時に、活動に対する若い方々の思いや理解の温度差を感じます。

これからは時代のニーズに合わせて、若い方の意見も取り入れたりしながら、今一度原点に戻って、女性連活動の必要性、大切さ等を私自身が学習し、今できることを進めていきたいと思っています。

どんなに時代が変化しても、女性の活動の場が広がっても、女性の特性を生かした気遣いや思いやりなどの視点があると思います。

これからのボランティアの公共性、自発性、無償性の理念を理解しつつ、市女性連活動を進めていきたいと思えます。

いちき串木野市地域女性団体連絡協議会 会長 塩屋 かよ子

いちき串木野市子ども会大会

いちき串木野市教育委員会

1月17日、市子ども会大会をいちきアクアホールで開催し、市内の子ども会会員と育成指導者等、併せて約600名が参加しました。始めに、市来小金管バンドの元気ある演奏で始まり、秋山俊一さん(湊地区)と上名地区子ども会、駅前子ども会が受賞されました。また、大原地区子ども会、川南地区子ども会が日頃の活動を発表しました。さらに、「アドベンチャー」ゴしき島」の事業発表がありました。

そして今回は特別に、濱田子ども福祉基金によりNPO法人「ハッピープリンデン」の、手話等を交えた歌のパリアフリーコンサートがありました。最後は子どもたちも舞台上に上がり大いに盛り上がりました。

参加者と一緒に合唱



参加者と一緒に合唱

第3回市ビブリオバトル大会

12月26日に、発表者が面白いと思った本を3分間で紹介し、会場にいた人の投票で一番読みたくなった「チャンプ本」を決める、第3回ビブリオバトル大会がいちきアクアホールで開催されました。市内の小学4年生以上の児童8名と中学校の生徒5名のバトルが行われました。

ビブリオバトルは、自分の好きな本のよさを伝えるため、じっくりと本を読み込み、深く理解することで読書の質の向上につながります。また、他の人の発表を聴くことで、読書の幅が広がり、新たな発見や考え方を知る機会になります。

どの発表も素晴らしく、会場の審査員の中には投票に悩む姿も多く見られました。チャンプ本は次のとおりです。

・小学生の部



発表する中学生

「さんねんないきもの辞典」
川上小学校4年 内田 雄進

・中学生の部
チャンプ本「幻想映画館」
串木野中学校3年 平田 心暖

市生涯学習推進大会講演会

2月3日、いちき串木野市生涯学習大会で、脚本家の中園ミホさんの講演会が市民文化センターで開催されました。

中園さんは、テレビドラマ「花子とアン」、「ドクターX外科医・大門未知子」や昨年NHKの大河ドラマ「西郷どん」の脚本を手がけられました。いちき串木野市には取材で訪れたことがあり、英国留学記念館や英国留学生の話もされました。

講演は、「脚本家の視点からドラマの取材を通して思うこと」と題してお話していただきました。「西郷どん」の話では、脚本づくりを通して西郷さんの人柄に魅せられたことや大河ドラマでは描ききれない程の多くの物語性に溢れていたことなど興味深い話に引き込まれていきました。

また、客席からの史実の質問にも丁寧に答えました。これからの生きがいのある人生に向けて楽しく、多くの示唆を与えていただきました。



中園ミホさんの講演

「フェリーとしま2」就航記念 第三回文化の祭典 セブンアイランド 2018 (村民文化祭) 十島村教育委員会

平成30年4月に就航した「フェリーとしま2」の就航記念として、昨年11月3日(土)に、鹿児島市のジェイドガーデンパレスで村民文化祭を開催しました。

七島の全てから、伝統芸能や和太鼓、スチールドラムなどが披露され、トカラ列島の歴史や貴重な文化の存在について改めて見直す機会となりました。

当日は、島民及び一般の来場者を含め、約400人の参加者があり、「村民でも初めて見る演目もあって感激した。」「二度に七島の伝統行事等を見ることで、貴重な体験だった。」などの意見がありました。十島村は、南北に約160kmという行政区域です。七つの有人島には約700人の村民が暮らしています。

今回の村民文化祭の大成功は、村民の連帯感を高め、今後の十島村の発展に大きく貢献するものと考えます。



口之島の盆踊り(村指定文化財)

日置市家庭教育学級講演会

日置市教育委員会

本市では、家庭教育学級は、各小・中学校や幼稚園ごとに取り組んでいただいておりますが、今年度初めて、市全体での講演会を開催しました。

12月15日(土)午後、各学校等の家庭教育学級生の他、この機会に家庭教育について考えてみたい方や講師の教え子等、76人が日置市中央公民館に集いました。

講師は、前南九州市教育委員会教育長の中村洋志氏で、「次代を担うのは、目の前の子どもたちと親や教師、地域のあり方が最高の教育」という演題で、90分間の御講演をしていただきました。

幼稚園児から大学生、教職員等を対象に、永年にわたり関わってこられた中村先生の体験に基づく講話は、参加者一人一人の心に深く入っていました。

「いのちは自分が使え、時間である。」



中村洋志氏の講演

「自分以外の人のために使う時間を増やしていく。」大切なものは目には見えない。」が印象的でした。本市では、家庭教育になお一層積極的に取り組んでまいります。

冬の親子ふれあい講座

日置市教育委員会

県が進めている「地域で支える家庭教育推進事業」の中の『市町村における家庭教育支援活動の推進』として、昨年度から3か年で取組を進めています。

本市の取組の一つに、親子ふれあい講座があります。これまで伊集院地域で行っていた親子参加型の活動を、各地域(旧町ごと)すべてで実施するようにし、今年度は、夏と冬の計2回ずつ行うように計画しました。各地域女性連の方々が子育てサポーターとして指導・支援していただきます。ここでは、冬の取組を紹介します。

12月1日、伊集院地域では44人の親子が参加し、ケーキ作りを行いました。ケーキが焼ける間には、ミニツリーを作りました。生クリームをたっぷり使い、いちごを飾り付け、簡単



に手作りできるケーキに、参加した親子は大満足でした。12月16日、吹上地域では26人の親子がクリスマスリース作りやチャレンジしました。

土台となるカズラを細いカズラで組み立て、麻ひもで吊るす部分を作り、グルーガンで飾りを付けていきました。オリジナルの作品は、クリスマスに各家庭で飾られました。

12月25日、日吉地域では13人の親子が参加し、お正月料理の由来を学んだ後、紅白なます、昆布巻き、筑前煮等を作り、一足早いお正月気分を味わいました。

12月27日、東市来地域では13人の親子が参加し、飾り餅やいも餅を作りました。子供たちは熱心に取り組み、試食ではほとんどの子供が完食しました。お土産のお餅をもらい、笑顔で帰って行きました。

参加した親子にとって、思い出に残る素敵な体験活動となりました。



竹島に集合!

「村民スポレク大会実施」

三島村教育委員会

11月3日(土)、今年で14回目となる三島村民スポレク大会が竹島で開催されました。

当日は、全ての島の子供からお年寄りまで総勢230名が竹島に集合。徒競走や玉入れ、綱引き、地区対抗リレー、未就学児によるおゆうぎや老人会の宝釣り、じゃんけん大会など、全てのプログラムで盛り上がりました。

未就学児、児童・生徒、高齢者、成人、村民全員が主役になった一日でした。三つの島の住民が一つの島に集まって交流する機会は一年に一度のこの時だけです。定期船の都合により、約4時間という限られた時間でしたが、皆で楽しみ、あちらこちらで笑顔が溢れる充実した大会となりました。

三島村では、スポレク大会と文化祭を交互に各島を回って実施します。来年は片泊地区で文化祭が開催される予定で、その日を全員楽しみにしています。



4地区そろって開会式

地区子ども会大会、指導者・育成者研修会

鹿児島地区子ども会育成連絡協議会

12月15日(土)、鹿児島地区子ども会大会、指導者・育成者研修会を日置市伊集院文化会館で開催しました。大会には地区内の子ども会員、指導者・育成者ら387人が参加しました。

オープニングの下神殿棒踊り保存会による元気のある棒踊りの後、開会式では松尾四男会長のあいさつに続き、日置市教育委員会の奥善一教育長のあいさつがありました。表彰式では1個人・7団体が地区表彰を受け、また九州・全国表彰の伝達等もありました。(詳細は下段に掲載)



下神殿棒踊り



アドベンチャーin甕島の発表

でいる様子が伝わる素晴らしい発表でした。下神殿子ども会育成会では、少子化の中で活動をやるめりではなく、近隣子ども会が合併して活動を継続する取組を紹介しました。

「良かところさがしの旅」と題した講演では、前鹿児島市中央公民館長の中馬道則氏が、ギタレレ伴奏に歌を交えながら、「子供の良さを見つけ、子供に何のためにどんな活動をしたら良いか考えさせることが大切である」と結ばれました。

また、別会場では、子供たちが、県青少年研修センターの職員の指導で創作活動を行いました。参加者は木片を磨いて、自分だけのオリジナルのネックレスづくりを挑戦しました。大人も子供も充実した大会となりました。



中馬道則氏の講演



創作活動の様子

明治維新の足跡をたどる

地区文化財担当者等研修会

12月21日(金)、地区文化財担当者等研修会を開催しました。

今回は明治維新150年に当たり、仙巖園、尚古集成館、異人館、黎明館、西郷南州顕彰館等を見学し、明治維新の足跡をたどりました。仙巖園では、世界文化遺産の反射炉跡や御殿の中を見学したり、庭園からの雄大な景色を眺めたりしながら、当時の生活の様子に思いを馳せました。

黎明館では、御楼門の復元作業場を見学しました。1873年の火災で焼失しましたが、現在復元作業中で、当日は建立当時の敷石を元の場所に収める作業を見ることができました。来年3月には御楼門が完成する予定です。

続いて西郷南州顕彰館を見学し、西郷隆盛や西南戦争について学び、最後に南州墓地で研修を終えました。

明治維新の文化財や先人の偉業に触れ、改めて鹿児島島の歴史を再認識した一日となりました。



示現流を体験

おめでとうございませう

国・県・地区社会教育関係表彰

地区子ども会大会で、次の個人・団体が表彰されました。心から喜び申し上げます。※敬称略

- 地区子ども会育成連絡協議会表彰
- 中野 弘己(いちき串木野市)
- 妙円寺三区子ども会(日置市)
- 北区子ども会(日置市)
- 下与倉子ども会育成会(日置市)
- 生福地区生野子ども会
- (いちき串木野市)
- 冠岳地区子ども会
- (いちき串木野市)
- 諏訪之瀬島子ども会(十島村)
- 悪石島子ども会(十島村)
- 全国子ども会連合会表彰
- 平野 道幸(いちき串木野市)
- 九州地区子ども会育成連絡協議会表彰
- 林田 榮次(日置市)
- 鹿児島県子ども会育成協議会表彰
- 池之上 理子(いちき串木野市)
- 鹿児島県優良少年少女団体表彰
- 清藤子ども会(日置市)
- 南区子ども会(日置市)
- 下与倉子ども会(日置市)

編集後記

平成30年度は虐待が大きな問題となりました。今こそ社会教育の出番だと思います。地域の教育力をより充実させ、有意義な一年にしたいものです。(事務局 三浦)